

令和3年度 事業報告書

事業開始日： 2021年4月1日

事業完了日： 2022年3月31日

■実施事業

1. 剣道錬成大会の開催

(1) 全国道場少年剣道大会

- a. 日程等：令和4年1月5日・6日
- b. 場 所：大阪府おおきにアリーナ舞洲
- c. 参加者：少年少女剣士 2日間で2,600名（監督を含む）※大阪府の入場制限により、スタッフ、付添者含めて1日につき収容上限の50%以内
- d. 内 容：団体戦の実施

(2) 都道府県道場少年剣道大会

- a. 日程等：4～11月（全国予選会を中止した支部の代替大会を含む）
- b. 場 所：全国
- c. 参加者：少年少女剣士 21,851名

(3) 全国道場対抗剣道大会・全国道場少年剣道選手権大会

- a. 日程等：令和4年1月5日・6日 全国道場少年剣道選手権大会のみ。全国道場対抗剣道大会【中止】
- b. 場 所：大阪府おおきにアリーナ舞洲
- c. 参加者：少年少女剣士 488名（監督を含む）
- d. 内 容：
 - ア.道場対抗：【中止】
 - イ.個人戦：各都道府県から選出された小中学生男女各個人の日本一を決定

A.成功したこととその要因

新型コロナウイルス感染症拡大下で都道府県をまたぐ移動が自粛される中、47各支部における活動に力を入れた。他の中止となった事業の予算を(2)都道府県大会に回し、通常の1日開催から感染対策のために2日間／2会場に分けて実施した支部の経費を一部補助するなど、支援を行った。そのことにより、各地の少年剣道活動が活性化し、結果として全国大会の開催に繋がり、少年剣士達の目標維持となった。

B.失敗したこととその要因

第55回全国道場少年剣道大会の延期期日を1月5日・6日に移動したため、年末年始の業務休業時期にかかり各業者の人件費等に割り増し料金が発生するなど、冬開催未経験により想定していなかった出費があった。

C.事業内容詳細

資料1 報告書、資料2：結果、資料3：写真、資料4：プログラム

2. 講習会等の開催

(1) 全国選抜少年剣道合宿錬成会【中止】

(2) 剣道指導者研修会【中止】

(3) 地区剣道道場指導者講習会 2地区

ア. 中部(愛知)地区剣道道場指導者講習会

- a. 日程等：11月27日・28日
- b. 場 所：愛知県
- c. 参加者：指導者等 51人

イ. 東北(山形)地区剣道道場指導者講習会

- a. 日程等：12月4日・5日
- b. 場 所：山形県
- c. 参加者：指導者等 54人
- d. 内 容：審判法、木刀による剣道基本技稽古法、指導法等の講習

A.成功したこととその要因

(3)地区剣道道場指導者講習会について、担当支部において慎重に協議を行い延期対応を重ねたことにより、より安心して開催ができる状況であった12月に約2年ぶりの講習会実施が叶った。広く募集せず基本的に対象を県内の参加者としたが、久しぶりの講習であったこともあり、おおよそ目標数の参加者が集った。

B.失敗したこととその要因

指導者研修会については開催地が感染者数の多い東京であったこと、蔓延防止措置期間、大会準備期間と重なったことなどを理由に中止した。来年度は、宿泊を伴わない講習への変更など、状況に応じ工夫し開催を考えている。

C.事業内容詳細

資料1 報告書、資料2：写真

3. 日本剣道少年団

(1) 剣道少年団研修会

- a. 日程等：2月
- b. 場 所：文書選考に変更
- c. 内 容：小中計18名が剣道から学んだことを発表する。書道展の開催

(2) 海外交流【中止】

A.成功したこととその要因

見通しの立たない感染状況下、書道展のウェブ開催、体験発表の文書選考等、早めの判断を下した。参加者の理解の上、旅費キャンセル費が発生する前に事業を実施することができた。

海外交流について、感染者が減少した時期には対策を整え全国大会に選手を招聘する案も模索したが、状況の推移を注視し、より安心できる大会運営を優先し招聘、派遣とも中止した。

B.失敗したこととその要因

会場利用を予定していた科学技術館催事場について、施設との契約に従いキャンセル費が発生した。

C.事業内容詳細

資料1 報告書、資料2 : 結果、資料3 : 写真、資料4 : プログラム

4. ホームページの運営 連盟活動や大会の記録掲載等公開

A.成功したこととその要因

入場制限をかけた全国大会において、来場の叶わなかった関係者に向けて団体戦、個人戦とも速報配信に力を入れた。感染対策のため、団体戦5人制から3人制に変更したことによるシステム対応を行った。また、初めて利用する会場であるため電源設備、インターネット設備の仮設を会場指定業者に依頼するなど、当日の混乱を避けるために力を入れた。結果、内外に安心してスムーズな配信を行うことができた。

B.失敗したこととその要因

人数制限・インターネット環境の都合により、来場が叶わなかった関係者に向けてのリアルタイム映像配信を行うことができなかった。

C.事業内容詳細

資料1 : 報告書、資料2 : アクセス数推移表

および全道連ホームページ掲載内容 (<https://www.zendoren.org/>)

■事業目標の達成状況：

①剣道の普及振興事業

A.目標の達成状況

1. ボランティアの指導者が多く活動が抑制される中、感染対策を講じ大会実施に向けて活動するなど、武道継承および剣道を通じた生涯学習の基礎となる少年剣道を絶やさない活動をできる限り行った。
- 2.全国道場少年剣道大会において、小学生 338 チーム、中学生 312 チーム（大阪府の指定する感染拡大防止対策内で実施可能と判断した最大数は 372 チーム）の参加を得て大会を実施した。
- 3.都道府県道場少年剣道大会において、団体戦 11,108 名、個人戦 10,743 名、計 21,851 名となった。大会は感染対策を講じて実施しているが、各団体や家庭の判断を尊重し出場数は減少した。
- 4.全国道場対抗剣道大会は会場や日程の都合により延期できず中止した。全国道場少年剣道選手権大会について、出場辞退があったものの各部門 60 名以上の選手が出場した。
- 5.少年合宿会は子供たちの共同生活の実施が難しい状況であると判断し、中止した。
- 6.指導者研修会は、予定地が東京であり、また合宿形式の講習が難しいだろうと判断し、中止とした。地区指導者講習会は、宿泊を斡旋しないなどの対策をとり、開催県内を主とし各 50 名以上の参加が叶った。指導者の日本の伝統文化としての剣道の質を高めると共に、少年指導法の向上を図った。
- 7.剣道少年団研修会は、各道場における活動が叶わない状況でも小・中学生併せて作文 1828 作が提出され、近年の最多数に次ぐ結果となった。文武両道を促し、身体面、

学業面でバランスのとれた青少年育成に努めることができた。

8.ホームページのアクセス数は昨年比年間-83,220 減少したが、SNS のフォロワー数は年々して増加している。

B.事業実施によって得られた成果

夏の大会実施については新型コロナウイルス感染状況を心配する声と同時に大会開催を熱望する声もあったものの、慎重に判断し延期対応とした。

他の競技やオリンピックが開催される中ではあったが、全国的な感染拡大防止対策協力を第一に置いた。

1月に延期したことで、未実施だった各都道府県支部において11月までに予選会が開催されるなど、各地の少年剣道の活動支援に繋がった。団体、個人戦とも全国舞台を確保することで、子供達の剣道継続の目標を維持することができた。

大会は感染対策を講じての実施を模索し、参加者への協力を重々に依頼したことで開催後も感染者の報告なく、対策と開催を両立できたものと考ええる。

体験発表については、自粛生活の中で少年達が剣道を続けることを改めて決意した声などを発表する場として、文書選考ながら有意義に実施された。少年剣士達の生の声を聞き、またホームページで公開することで一般関係者にもその声を届けることができた。書道展と併せて文武両道の活動を推進した。

C.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

全国大会は当連盟加盟団体にとって最大の目標でもあるため、都道府県大会を含めて大会参加が叶わない場合、会員の減少と少年剣道普及にマイナス影響を与える大きな懸念がある。

事実、地域差はあるものの5人制での大会参加が難しい声も多く聞こえる。

対策として、

- ・各都道府県支部内における幼少年、特に低学年の大会を更に推奨するなど、参加者の多様化を図る
- ・各団体における、入門後の少年剣士が剣道を続けたいくなる工夫ある指導の必要性など、連盟として発信していく

以上のような対応に加え、少人数で活動する道場にもフォーカスを置き、既存の事業内容の見直しを図る。

②基盤整備事業

A.目標の達成状況

1.予定の規模を縮小しての開催となったが、全国道場少年剣道大会を延期の上開催した。全国道場少年剣道選手権大会は全国道場少年剣道大会と併催し、予定数の代表選手による試合が行われた。各都道府県支部において、コロナ禍ながら剣道を学ぶ少年剣士達のために感染対策の上できる限りの活動が成された結果、全国大会を開催することができた。

体験実践発表（作文発表）は文書選考となり、書道展もWEB掲載となったが、コロナ禍で道場活動が可能な地域、難しい地域がある中、体験実践発表は小学、中学合計1828作品、書道展は3047作の応募があった。

少年合宿会は、新型コロナウイルスの感染が拡大する中、小中学生の共同生活の実

施が難しく中止とした。

2.指導者講習会も、宿泊を伴う全国的な募集が難しいと判断し、中止とした。地区研修会については、宿泊を伴わない担当県の指導者の参加を中心とし、地区内各自の判断により宿泊が必要な者は適宜手配し講習を2日間行った。活動が制限される中、指導者の技術維持に努めた。

3.会員道場数は、新型コロナウイルス感染症拡大下において活動できない団体が多数あり、休会中の団体を除き登録数 2191 団体まで減少した。新型コロナウイルスで活動自粛の多大な影響を受けた令和2年度の少年剣士登録数は 32,000 名、本年度は 33,000 名を超えた。剣道を通して健全な青少年育成、それに携わる指導者育成を広く行っていくため、事業の更なる充実化、環境設備、安全性の維持・改善、および会員確保に力を入れる。

B.事業実施によって得られた成果

令和2年度の事業のほぼ全てが中止になったことの配慮として、令和3年度は当連盟会員登録章（ワッペン）を、傷害保険登録料のみで継続して使用できることとした。それにより、緊急事態宣言など活動が安定しない状態が続いた今年度においても個人登録数は昨年度と同等を保った。結果、全国的な活動の自粛が続いた本年度において、一部ではあるものの各都道府県内の活動援助に繋がった。

コロナ以前より少子高齢化やスポーツの多様化により、武道を通じた青少年育成としての剣道活動に苦慮している。その中で本年度はこれまでの活動の最大限維持継続に留まったものの、毎日レディース剣道大会には予想を上回る応募があった。室内競技、発声を伴うこと、ボランティア指導が主でありコロナ禍では各指導者の活動が制限される中、剣道活動の維持に繋がる事業活動を行った。

C.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

室内競技、発声を伴う武道であり、いわゆる『with コロナ』の環境において大きな影響を受けている。

現在は継続している少年剣士が引き続き登録を続けているが、更なる長期化で大打撃を受ける可能性もおおいにある。

コロナ禍での少年剣士募集、および子供達が能動的に継続したくなる少年剣道指導の推進など、今後更に力を入れる。

■事業成果物

完了報告書等

- ・未作成となった要因 事業の中止による。
- ・成果物を登録したウェブサイトの URL

剣道の普及振興事業 <https://fields.canpan.info/report/detail/26574>

基盤整備事業 <https://fields.canpan.info/report/detail/26575>

以上

令和3年度(2021) 事業計画一覧

(2022/8/22現在)

月	事業名	開催日	開催場所
2021年			
4	第59回 全国選抜少年剣道合宿錬成会(中止) 各都道府県道場少年剣道大会 (全国大会予選)	1日(木)～4日(日) (4月～5月)	東京・錬成会館 全国各地
5	第43回 京都会員講習会(中止) 各都道府県道場少年剣道大会 (全国大会予選) 第1回 理事会	5月 (4月～) 5月31日(月)	京都・武道センター 全国各地 東京・全道連本部
6	定時評議員会・第2回 理事会	6月7日(月)	東京・日本財団ビル
7	第55回 全国道場少年剣道大会 (延期)	7月28日(水) 小学生団体の部 延期 7月29日(木) 中学生団体の部 延期	大阪・おおきにアリーナ舞洲
8			
9	各地区剣道少年団研修会予選会開始 第38回 全国道場対抗剣道大会(中止) 全国道場少年剣道選手権大会 (延期) (第45回小・中学生男子の部) (第38回小・中学生女子の部)	(9月～12月) 9月19日(日) 中止および一部延期	島根県・松江市 松江市総合体育館
10	第3回理事会 各都道府県、剣道少年団活動促進、発表会(代表者選考)	10月18日	東京・日本財団ビル
11	令和3年度 第1回剣道指導者研修会(中止) 令和3年度 中部(愛知)地区剣道道場指導者講習会	11月27日(土)～28日(日)	東京・錬成会館 愛知県名古屋市
12	令和3年度 東北(山形)地区剣道道場指導者講習会 第20回毎日レディース剣道大会	12月4日(土)～5日(日) 12月12日(日)	山形県米沢市 東京・日野市 市民の森ふれあいホール
2022年			
1	第55回 全国道場少年剣道大会 全国道場少年剣道選手権大会 (第45回小・中学生男子の部) (第38回小・中学生女子の部) 剣道少年団海外交流(中止) 令和3年度 全国少年剣士書道展 審査 優秀剣道少年団表彰 一本部選考	1月5日(水) 小学生の部 1月6日(木) 中学生の部	大阪・おおきにアリーナ舞洲
2	第44回 日本剣道少年団研修会 (文書選考)	2月27日(日)	東京・科学技術館
3	令和3年度 第2回剣道指導者研修会(中止) 優秀剣道少年団表彰	3月	東京・錬成会館